

# 漁況予報 い わ し

## 第187号

【2015年1～2月漁期】

※1 平年：過去5年平均

※2 被鱗体長：口先から尾ビレの付け根までの長さ

### = 概況 =

#### 【マイワシ】

主要定置網におけるマイワシ総漁獲量は、11月は6.4トンで前年(1.4トン)を上回りましたが平年<sup>※1</sup>(13トン)を下回りました。12月は1トン(速報値)で、前年(10トン)及び平年(55トン)を大きく下回りました。

まき網は、11月に相模湾側で1ヶ統が約250トンの水揚げがありましたが、12月は東京湾側も相模湾側も漁獲はありませんでした。

魚体は、2ヶ月とも被鱗体長<sup>※2</sup>(以下同)13-15cmの0歳魚(2014年生まれ)主体でした。

**【2014年概況】**神奈川県における2014年のマイワシ漁獲量は、主要定置網750トン、まき網568トンの合計1,318トン(速報値)で、3年ぶりの1,000トン超えとなり、平年(2,068トン)は下回りましたが、前年(497トン)を大きく上回りました。春シラス漁におけるマシラスの混獲率が比較的高く、夏季以降に0歳魚(2014年級群)の漁獲量が伸びたためです。マイワシ太平洋系群は低水準ながら増加傾向にありますので、今後本県沿岸への更なる来遊に期待したいところです。

#### 【カタクチイワシ】

主要定置網における11月のカタクチイワシ総漁獲量は2.5トンで、前年(33トン)及び平年(7トン)を大きく下回りました。つづく12月の漁獲量(速報値)は50トンで前年(38トン)を上回り平年(52トン)並でした。鴨居地区及び佐島地区(1ヶ統)のまき網は餌イワシとして漁獲しました。

魚体は、定置網では6-7cmの未成魚が、まき網では9-10cmの小型成魚主体でした。

**【2014年概況】**神奈川県における2014年のカタクチイワシ総漁獲量は、主要定置網2,992トン、まき網1,112トンの合計4,104トン(速報値)であり、前年(2,810トン)及び平年(3,100トン)をやや上回りました。盛漁期の5月の漁獲量が伸びませんでした。2月の豊漁が効いて太平洋系群全体の資源量が減少傾向にある中としては好漁となりました。国等の資源量調査によれば沖合海域における分布量は確実に減少していますので、今後は沿岸発生群の動向を注視していく必要があります。

#### 【シラス】

相模湾のシラス船びき網によるシラス漁獲量(標本船データより推定)は、11月は相模湾全体で好漁となり前年及び平年を大きく上回りました(前年比1.8倍、平年比1.6

倍)。12月は葉山・小坪沖や平塚地先でややまとまった漁場形成がありましたが、全体としては11月ほどの勢いはありませんでした（前年比0.8倍、平年比1.1倍）。

【2014年概況】神奈川県における2014年のシラス総漁獲量（標本船データからの推定値）は、前年および平年並の525トンとなりました（前年比1.1倍、平年比1.0倍）。4月及び11月に相模湾全域で好漁となりましたが、それ以外の月は軒並み平年割れの漁獲水準となり、一年を通すと平年並で終漁となりました。

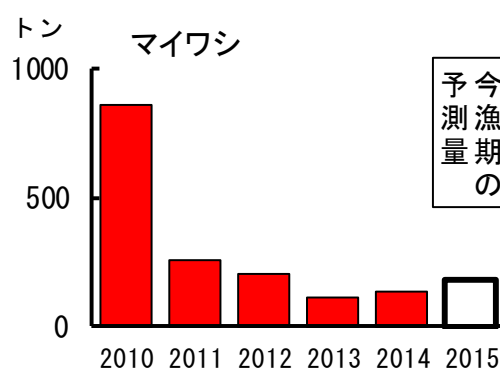
## = 予報 =

### 【マイワシ】

今漁期は、2014年生まれの小中羽マイワシ（13～16cm）が漁獲の主体となるでしょう。

今漁期の漁獲量は、マイワシ太平洋系群の資源量の推移から、前年をやや上回る約180トンと予測されます。

過去5年の1・2月漁期の漁獲量と今漁期の予測量

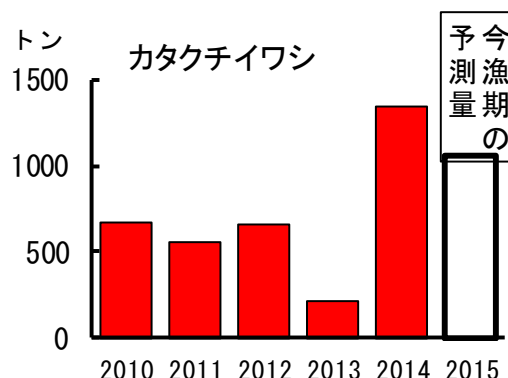


※グラフ縦軸：主要定置網+まき網

### 【カタクチイワシ】

今漁期は、未成魚（7～8cm）及び小型成魚（9～10cm）が漁獲の主体となり、西湘地区では沖合海域から来遊する大型成魚（12～14cm）が混じるでしょう。

今漁期の漁獲量は、前年をやや下回る約1062トンと予測されます。



※グラフ縦軸：主要定置網+まき網

### 【シラス】

神奈川県の上りしらす漁は、1月1日から3月10日まで禁漁です。当所では解禁後の漁況予測のため、神奈川県上りしらす船曳網漁業連絡協議会の協力により、今年も1～3月に禁漁期調査を実施します。調査の状況については、次号で報告する予定です。

神奈川県水産技術センター企画資源部  
三浦市三崎町城ヶ島 (046) 882-2313